

平成 31 年 1 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 31 年 1 月 31 日 (木) 午前 9 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教育長	仲野 孝	教育長職務代理者	黒川 優子
委員	山崎 克弥	委員	中野 信男
委員	秦 久美子	委員	斎藤 純郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	山田 公一	主 幹	二平 芳信
学校教育課長	宮路 一規	子育て支援課長	白井 健次
社会教育課長	更科 明大	統括指導主事	小泉 浩彰

5 本委員会書記

学校教育課 太田 和行 他 2 名

6 傍聴人

1 名

7 会議に付議した事件

諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

専決処分の報告について

報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議案

議案第 1 号 燕市図書館協議会運営規則の一部改正について

その他

- (1) 平成 30 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者（案）について

- (2) 平成 31 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）
 - 1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 11 号）の概要について

- (3) きららにこここ保育園開園に向けた引継ぎ保育について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時30分～

2. 会議録署名委員の指名 齋 藤 純 郎 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について
 〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告
 〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。
- 去年は、市民の皆様にご不安や心配をおかけすることがあった。今年は、様々な面で明るい話題を多く提供できるようにしっかり努めていきたい。

2 職員や教員の働き方改革

- 教員の働き方改革について、中央教育審議会が答申の素案をまとめた。そのポイントは、国がガイドラインを作り、時間外勤務の時間が月45時間、年360時間を超えないようにすることである。
- この時間が形骸化しないためには、校長などがその時間を守るように指導しなければならないが、様々な課題が残っていると感じている。
- 市内の学校では、一斉に午後7時までに退勤する日を設けたり、部活動休止日を設けたりするなどして、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら仕事をを行う習慣化に向けて取り組みを進めていかなければならない。

3 インフルエンザの状況

- 小学校を中心にインフルエンザが流行し、1月29日までに学級閉鎖を行った小学校は12校、中学校は3校、のべ42学級となった。
- 年明けから一気に広がった模様で、今後はさらに学年閉鎖や臨時休業に繋がる可能性が十分あるので、適切な予防と対応が必要と考えている。

4 1月の行事予定から

(1) 燕市西蒲原郡小中学校教頭会(1/10)

- 教頭会から講話の依頼を受け、教育を取り巻く今日的課題や教頭としてのマネジメントなどについて話をさせていただいた。
- 教頭は、日々校長とともに学校運営全般に尽力しており、こうした機会に

学力向上や新学習指導要領の実施、教員の働き方改革など様々な課題に対する情報交換を行い、教頭職をしっかりと勤めて欲しいと激励した。

(2) 燕の学校教育・研修成果等報告会(1/18)

- 今年で6回目を迎える標記報告会を分水公民館で行った。分水北小学校の「国上山観光ガイド」や燕北中の「フラワーロード」の活動といった地域連携事業、中学生のキャリア教育「Good Job つばめ」や小学校における農業体験の活動である「キッズファーム事業」、さらには、本市が独自に進める小中学校の「燕長善タイム」の取り組みなどの報告を行った。
- また、県外先進地への視察報告や新潟大学とのパートナーシップ事業など教員研修についての成果報告も行った。こうした報告により学校間の情報交換を進め、さらなる学校教育の充実につなげることを目指している。
- 様々な取り組みが児童生徒にとって有為なものになることを確信するとともに、この研修成果が児童生徒の学びに結びつき、さらに成果があげられることを期待している。

(3) 新潟県スポーツ協会新年会(1/19)

- 県体育協会が県スポーツ協会へと名称変更したことを記念して、アルペンスキーで活躍した湯沢町出身の皆川賢太郎氏の講演会があった。
- 皆川氏が強調されたのは「雪を資源に」という言葉であり、スキー人口が減少する中、北海道や長野県の例を紹介しながら新潟の特質を生かしたインバウンド需要を取り込むことを訴えていた。さらに、来年湯沢町で行われるアルペンスキーのワールドカップに向けた取り組みに触れ、参加者に対して成功するための協力や支援を呼び掛けていた。

(4) つばめ・やひこ女性活躍推進フォーラム(1/20)

- このフォーラムでは、「イクボス式マネジメントの心得とは」と題してNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事である川島高之氏の基調講演があった。講演では、家事や育児(自分ごと)、商社勤務や会社社長(しごと)、PTA会長やNPO法人(社会ごと)の経験が全て「本業」であるとの考え方が印象に残った。
- また、「ワーク・ライフ・バランスは、与えられるものでなく、自ら意識して取りに行くもの(自責)、だから、ワーク・ライフ・バランスができない理由を挙げるのではなく、できる手段を考え実行する」といった示唆に富む内容の話が聞くことができた。

(5) 第11回B&G全国サミット(1/22)

- この会議には、全国390ヵ所の海洋センター(燕市では、燕市B&G海洋センター)所在自治体から、約500人の市町村長や教育長などが参加した。
- 会議では、日本財団の笹川陽平会長による「世界と日本の現状」と題した基調講演の後、第15回B&G全国教育長会議の報告や2020年東京オリンピ

ック・パラリンピックへ向けた自治体の取り組み事例の発表があった。

- 本市は、B&G財団より7年連続で「特A」の評価を受けている。この評価が10年連続すると表彰されるとともに、優遇処置としてセンターの修繕に係る支援を受けることができることになる。

(6) 第12回良寛書道展表彰式(1/27)

- 冬の風物詩として定着している良寛書道展も第12回目となり、今年は、小学校3年生から中学校3年生までで、昨年度より107点多い2,677点の作品応募があった。そのうち、特選から銀賞までの784点を分水公民館で展示した。
- 表彰式では、特選(23点)と準特選(49点)を受賞した児童生徒を表彰したほか、金賞(180点)、銀賞(532点)、銅賞(799点)、佳作(532点)が審査によりそれぞれ選ばれた。
- 今年の6月8日(土)には、燕三条地場産業振興センターで第42回全国良寛会燕大会が開催されことになっており、大会当日は特選の受賞作品を展示することにした。

5 次年度に向けて

- 現在、新学習指導要領の改訂に伴い移行措置期間となっているが、2020年の完全実施に向け、小学校の授業時間を増やす必要があることから、エアコンの設置を視野に入れ、授業日数の一層の確保について校長会と調整を始めている。
- 地域とともに行った防災教育の取り組みが評価され、小池中学校が「ぼうさい甲子園」で奨励賞を受賞したことを受け、小中学校における防災教育をさらに充実・発展させていき、児童生徒たちが将来地域の力になれるということを実感できるようにしたいと考えている。

4. 専決処分の報告について

報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について

4件の共催・後援について

〈No.1、2について更科社会教育課長が説明〉

〈No.3、4について宮路学校教育課長が説明〉

5. 協議題

協議第1号 新規共催・後援申請について

1件の後援について

〈宮路学校教育課長が説明〉

6. 議 案

議案第 1 号 燕市図書館協議会運営規則の一部改正について
〈更科社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 1 号は原案通り議決された。

7. その他

(1) 平成 30 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校
卒業式の日程及び出席者（案）について
〈各課長が説明〉

(2) 平成 31 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 11 号）の概要について
〈各課長が説明〉

(3) きららにこにこ保育園開園に向けた引継ぎ保育について
〈白井子育て支援課長が説明〉

8. 閉 会 午前 10 時 18 分

教 育 長 仲野 孝

会議録署名委員 齋藤 純郎

会議録調整者 矢川 麻里子
